

退 公 連

い わ き

第 70 号

福島県退職公務員連盟  
いわき支部

発行日 令和6年7月10日  
発行者 草 野 義 教  
発行所 石森二丁目6-1  
(電) 22-9881  
印刷所 八幡印刷株式会社

令和6年度 支部総会

今年も対面で開催

いわき支部総会は、5月1日にいわき市労働福祉会館において開催された。25名の参加者であった。

はじめに令和5年度に逝去された38名の会員に対して黙祷を捧げた。挨拶に立った草野義教支部長は、これまでコロナ禍の対応で活動ができず、ほぼ休止の状態であったと悔しさに触れ、以前のような活動に戻したいと力強く話された。

米寿21名、退任委員4名を紹介し記念品を贈呈した。従来は総会において直接渡すか、後日方部役員より該当者に贈呈していたが、コロナへの対応で総会を中止とした年より、事前に記念品を郵送している。続いて、増井啓三氏を議長に選出して議事に入り、会務・決算報告の

後、事業計画案・予算案の審議がなされた。事業計画では、事務局長及び5名の部長より基本方針、活動計画等が発表された。退公連活動の見える化に取り組む事。今年度も慰問とふれあい旅行は中止とするが、コロナの感染防止に知恵を絞り、会員皆様の協力のもとに諸事業を推進していくことが確認された。

6年度は役員改選がないため、支部長、監事の留任が承認され、支部長より役員・方部委員を委嘱した。能登半島地震被災者会員への義援金が提案され、支部予算よりの支出が承認された。また、奉仕活動についての提案があった。議事はスムーズに進行し短時間で総会を閉じた。

(事務局長 団野 勝一)

支部長あいさつ

支部長 草野 義教

会員の皆様にはご健勝にてご活躍のことと存じます。

先日、年金通知書が届きました。令和6年の年金額は、昨年比2.7%の増額です。マクロ経済スライドが適用されているのですが、物価上昇分の3.1%には及ばず、実質は0.4%目減りとなっています。

私たちが受け取る年金の7割は、現職者が負担する掛金により賄われています。実質目減りという状況ではあります。私たちが現職者によって支えられていることを忘れてはなりません。退公連は、現職公務員の働く環境を整え、現職者にとって現在そして将来にわたって安定した公務員制度が継続していくことを第1に掲げ活動しています。

コロナ禍で自粛していた支部活動も、今年から活動を再開していきま。退公連の活動の「見える化」を通して組織を継続し、よりよい公務員制度の確立に向けて努めてまいりたいと思います。皆様のご理解とご協力をお願いします。



令和6年度いわき支部組織表

|       |       |      |       |
|-------|-------|------|-------|
| 顧問    | 高木 清  | 組織部長 | 増井 啓三 |
| 同     | 鈴木 雅之 | 副部長  | 酒井 功  |
| 支部長   | 草野 義教 | 部 員  |       |
| 副支部長  | 猪狩 良彦 | 年金部長 | 古川洋一郎 |
| 同     | 阿部 秀政 | 副部長  | 勝倉 孝行 |
| 同     | 佐久間静子 | 部 員  | 高木 典子 |
| 事務局長  | 団野 勝一 | 女性部長 | 伊藤 弘子 |
| 幹 事   | 増井 啓三 | 副部長  | 比佐 恒子 |
| 同     | 中根 孝雄 | 部 員  | 佐久間静子 |
| 同(会計) | 伊藤 弘子 | 福祉部長 | 中根 孝雄 |
| 同(会計) | 団野 勝一 | 副部長  | 小林 延子 |
| 監 事   | 比佐 恒子 | 部 員  | 片寄 善勝 |
| 同     | 鈴木 貴一 | 広報部長 | 鶴沼美枝子 |
|       |       | 副部長  | 鈴木 貴一 |
|       |       | 部 員  | 大澤 範子 |

支部の主なあゆみ(令和6年度前半)

|      |                                  |
|------|----------------------------------|
| 4・15 | 県評議員会 (郡山市)                      |
| 5・1  | いわき支部総会(労働福祉会館) (福島市)            |
| 5・13 | 第1回理事会 (福島市)                     |
| 5・20 | 支部連絡会議 (郡山市)                     |
| 5・27 | 支部長 事務局長                         |
| 5・27 | 支部会報編集委員会 2、3回目は7月               |
| 7・6  | 支部役員・部員合同会(正月荘) 海をきれいに 四倉海岸で奉仕作業 |
| 7・10 | 支部会報第70号発行                       |
| 8月初旬 | 61歳定年制による退職者数調査                  |
| 8月中旬 | 国会議員への要望活動                       |
| 8・19 | 第2回理事会 (福島市) 支部長                 |

退任にあたって

中岡根小屋方部 秋山 功一

この度、都合により会報配達役を退くことになりました。平成21年から15年間務めてまいりました。当時は12名の会員がおりましたが、現在は6名と半減してしまいました。若い会員発掘のため勧誘をしましたが、加入までには至りませんでした。この間、当地区会員の皆様には温かく見守っていただきました。会員皆様方のご健康と発展を祈念いたします。

方部委員の退任にあたって

玉川方部 岡本 安由

方部委員を務めて11年になりました。無事引き継ぎができて安堵しています。私の担当箇所は、生まれ育った住吉地区と玉川団地、島地区と懐かしいところばかりでした。団地の会員が多く、初めは自転車でしたが、坂が多く、すぐ軽トラに変えました。ほとんどが面識のない方でしたが、小学校の恩師に会えたことはうれしいことでした。高齢の方が多く、だんだん会員数が減っていくのはさみしく心配なことです。

方部委員の新任者は3面に掲載

福島県退職公務員連盟いわき支部 令和5年度会計決算書

Table with 2 columns: Item (収入金, 支出金, 差引残高) and Amount (2,443,782円, 1,759,567円, 684,215円). Includes note '次年度に繰越'.

◎収入の部

(単位：円)

Table with 5 columns: Item, 決算額, 本年度予算額, 増減(△), 摘要. Rows include 1 会費, 2 繰越金, 3 雑収入金, and a total row.

◎支出の部

Table with 5 columns: Item, 決算額, 本年度予算額, 増減(△), 摘要. Rows include 1 事務費, 2 通信費, 3 会議費, 4 交付金, 5 渉外費, 6 旅費, 7 図書費, 8 慶弔費, 9 部会費, 10 手当, 11 負担金, 12 予備費, and a total row.

令和6年5月1日
上記の通り報告いたします。

福島県退職公務員連盟いわき支部
支部長 草野 義教

令和6年3月29日
監査の結果正確かつ適正であることを認めます。

監事 比佐 恒子
監事 鈴木 貴一

# 各部 活動計画



## 組織部

部長 増井 啓三

昨年度3月末に、退職年齢が引き上げられた。これにより、次のように教職員の新会員勧誘を行いたいと考える。会員の皆様の御理解と御協力、宜しく願いたい。

1、61歳定年制の該当者

8月に学校への対象者人数調べを実施し、1月に勧誘の文書を該当者所属校に送る。対象者名簿は事務局、部長で作成する。

2、60歳退職者(若干名)

8月に、新聞辞令で調べ住所が分かる場合は、該当者に文書を送る。なお、会員の皆様の勧誘も引き続きお願いしたい。

## 年金部

部長 古川洋一郎

今年は+2.7%の改定率で通帳を見て値上がりを実感されていることと  
思う。恩給の流れを汲む共済年金は遺族年金の制度を堅持し国民年金に比べ優遇されている。更によく知  
るため研修会を企画した。是非参加を  
お願いしたい。

日時 令和6年11月6日(水・予定)

場所 13時30分〜15時20分  
中央台公民館  
講師 平年金事務所所員

## 福祉部

部長 中根 孝雄

1、コロナやインフルエンザ等の対応が困難な中、会員の親睦活動を実施し、参加者の拡充と入会促進を積極的に推進する。

2、福祉関連事業の充実を図るため、関連機関との連携を強化する。

3、環境保全のため、女性部と連携し、海岸清掃活動等の奉仕活動を実施していく。

## 女性部

部長 伊藤 弘子

1、社会参加・社会貢献等への取り組みについては、活動計画作成の段階から関連部や事務局との連携により、実効性のある活動計画を立て実践する。

(全体の奉仕者の精神)

2、組織拡大強化を意識し、活動内容は会員相互の親睦を計るだけでなく、社会貢献の要素を含めたものとし社会全体に見えるようにする。  
(活動の見える化によるアピール)

# 健やかに生きる

—趣味・生きがいをもとめて—

関田方部

小野 始

若い頃はアユの如くぴちぴちと仕事一筋。定年を迎え「あれもしタイこれもしタイ」と考えていたら東日本大震災。一段落したらコロナ騒ぎ。いつしか古希も過ぎ、体中綻び始め、「あれもできたら、これもできたらいいな」とパワーダウン。この先どうしようかとサメザ

メしていた処、目にしたのが市の市民講座。これが中々おもしろい。いろんな人と話す機会に恵まれる。誰かに「〇〇した方がいいんじゃない」と意見されたら運送業や配達業者の如く「ウン、ソウですね。ハイ、ソウです」と受け止められるように努めている。本誌第65号掲載記事に賛同がある。平均寿命までにはまだ間があるが、残りの人生を「お金も女もないよ。わたしゃ元気があればいい」と大海を泳ぐ魚のようにサバサバと過ごしたいと願っている昨今である。

好問3方部 根本滋太郎

私にとって「健やかに生きる」は、「毎日の生活に楽しみを見いだし、小欲・少ストレスで過ごす」ことだ

## 方部委員の新・退任者

### ◆新任方部委員

郷ヶ丘2B 齋藤 健

草野2(1) 片寄 善勝

玉川 渡辺 朝人

関田西 小野 幸子

### ◆退任方部委員

秋山 功一⑬ 岡本 安由⑪

高木 清⑦ 下重 照子⑦

小口 芳重⑤ 西山 禮子②

大森 俊輔② 木村 恵三①

(丸数字は年数)

と想っている。

震災のあった2011年、薄磯の中学校で定年退職、教師の荷を下ろし無職になった。30坪くらいの自宅菜園で野菜づくりを始めた。日々菜園で体を動かし、自家製の野菜を食べている。旅行・外食等は、ほぼ皆無状態だ。野菜づくりは、「種」(土(生育環境))「人(野菜の生長を援助する)」が噛み合っとうまくいくそう  
だ。前年と同じことを次の年しても失敗することがある。大変だが楽しみがある。学校教育と似ているかなと思う。

「健康や若さ」「老後資金」「終活」等、心理的に不安にする商業情報が溢れている。小欲に心がけ、日々を楽しむ、天命の定年を迎えたい。

随想

「夏が来れば……」

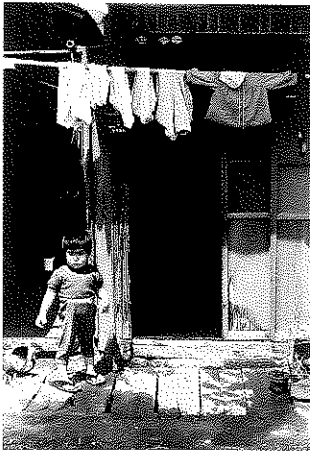
湯長谷2方部 川口 如洪

何度行っても新しく、何度行っても美しい尾瀬、霧の中の尾瀬、郭公や鶯の声で目を覚ます。朝日を受け輝く澄み渡る草原。56年前、鳩待峠から至仏山に登る。山頂からは燧ヶ岳を背景にした素晴らしい尾瀬ヶ原の全景が見渡せた。滑りやすい蛇紋岩の岩場を下る途中、全身に綿毛を冠り高山の寒冷と乾燥に耐える姿のホソバヒナウスユキソウが姿を見せた。山ノ鼻まで下山し、尾瀬ヶ原を探勝したのが最初の尾瀬歩きだった。その後、四度、尾瀬近辺を歩き回ったが振り返ってみるといろいろな出会いが思い出せる。大江湿原で

写真

裏町にて

飯野3方部 伊藤 紘



短歌

「退公連いわき」を編みし十年ぞ 彼の日彼の時甦り来ぬ 歌友らと学び親しみ安らぎて九十六歳短歌を詠み継ぐ

方部外 阿部 良全

はニッコウキスゲ・リュウキンカのみ美しさに感動。中田代では池塘に倒影する燧ヶ岳、純白の花弁のヒツジグサ、黄色のオゼコウホネが姿を見せていた。残雪を抱いた至仏山を背景にした水芭蕉の大群落が圧巻。でも私は上田代の小川にひっそり咲いていた開花したばかりの可憐な小さな水芭蕉に強く心惹かれ今も忘れられない。段吉新道の谷間では淡紫色の貴重な植物、戸隠升麻に出会えた。燧ヶ岳の柴安富近くで「オコジョ」

思い出の1枚です。大学時代、1級上の幼なじみに誘われて写真部に入りました。

この頃、土門拳の「筑豊のこどもたち」の写真集の影響を受けて、裏町を撮影したものです。写真部の月例会で評判がよかつたものです。

当時はフィルムの現像、焼付等は自分でしていました。カメラは「マミヤ」のレンズシャッターなので、ブレが少なくピントが合っています。

現在は、一眼レフでデジタルカメラを使っています。

川柳

四倉1方部 志賀 英信

教え子ら泊りで祝う師の米寿 夫婦旅次はどこかとチラシ見る 会員減会報配り腹が立つ

事務局だより

- 今年度の会員は58名で61名の減少。
○県大会は、9月5日に福島市開催。参加者募集中。事務局長へ申込みを。
○6年度の慰問、旅行は中止。新企画で7月6日に奉仕活動を四倉海岸で実施。11月には年金研修を予定。詳細は後日お知らせします。
○会費口座振替を6月24日に実施。
○能登地震への義援金6万円を送金。

謹んで 哀悼の意を表します

令和6年1月〜6月

- 野沢 和子 渡部 英子
高萩 貞弘 清水田 昭
秋元 俊克 橋谷田 隆
針金 作次 寺島 文雄
三星 賢二 齋藤とち子
目黒昇一郎 蛭田トメ子
下山田大膳 鈴木 実
松本 和夫 片寄 利男

編集後記

毎日、暑い日が続くが、会員の皆さんは、いかに過ごされているだろうか。上手く乗り切りたいもの。さて本会の画期的な活動が計画された。7月6日におこなわれる奉仕活動(四倉海岸の海岸清掃)である。本会の存在を世間に知っていただくよい機会にもなると思われる。そのためいろいろな工夫も行われている。ぜひ会員の皆様の協力をお願いしたい。(活動の様子は、次号で)

